
NOVA

藤白竜胆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

NOVA

【ノード】

N1794P

【作者名】

藤白竜胆

【あらすじ】

新星は、死の間際に強い光を放つて消えゆくもの。孤児の少女は何を思つ……？

いつか人は死ぬ。

万物に平等に

ねえ、あの星は…いつまで生きるの?
ねえ、この星も…いつまで?

…新星…

一瞬だけ、生まれて、そして死ぬ。

死の一瞬だけ…知らせるように、生きた証を…傳ぐ…光ってみせて。

私も、あの新星のように…輝けるのかな?

『…ノヴァちゃん、眠れないの?』

「あ…シスター…」

『まあ…新星ね?あなたの名前とおんなじ。…もう少し早くくれば
ちゃんと見れたのに、残念だわ。』

「また、やつと…つまれて消えてこわます。」

そつと硝子越しに、闇夜に浮かぶ星を見上げた。

「…「ホッ…ゴホ…」」『ノヴァちゃん…』

毒されたシスターが、いつものように介抱してくれる。吐き出された血を見るのは何度目?

もつ…生ても死んでも同じ…。死んだら、父や母や母さんに逢えるかな…。

目を瞑れば、そこは暗闇。

一ヶ所がぐにゅうと歪み、一人の男の子がカタチを現す。

…ああ…知つている。なんて懐かしい…

『…シャドウ…』

黒髪に碧い瞳。そつと微笑む姿…初めて見た、成長した弟の姿…。

近づいてみると、彼は“来るな”と首を振る。

オレンジ色の瞳が哀しげに揺らぐ。

…“まだ生きるといつの？”と。

もう、いいじゃない。あの時、私に生きりとこつてあの場所から押し出していく…

一緒に生きたかったのに、キミは生まれてこなかつた。

あの方が…私達と一緒に母に宿したといつのに…運命は冷酷。

“生きたかった

けど、ノヴァに…ボクの姉さんに、誰よりも生きてほしかつたんだ

…”

ああ…そうだ…。忘れていた…彼が、誰よりも私が生きるひとを望んでいたことを…。

この想いをたよりに、生きてきていたの…。

どうして見失つていたのだらう…

私の想いを悟つたかのように、シャドウは笑顔をむけると、ある方向を指差す。

光の…命の扉。

いつか…一緒に開いた、あの扉。

わざと開けたら…むづシヤドウには逢えない。でも…。彼に後押し
されるように、わざと廊のむこうへと歩きだした…。

(後書き)

作者が一時期、どうしても鬱から抜け出せなかつた時期がありました。

その時に、ふと思ひ浮かんだ情景（夢だつたかも？）です。

7歳くらいの瘦せこけた少女が、瞳にもう一度命の灯を宿した瞬間、涙がとまらなくなりました。

自分が、思い出せるようにと、文に認めた所存に御座います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1794p/>

NOVA

2010年11月28日02時34分発行